令和6年度 第1回群馬支部評議会 議事概要報告（速報）

開催日	令和6年7月19日 金曜日 10:00～11:50
開催場所	前橋本町スクエアビル8階
出席者	木村評議員、齋藤評議員、坂庭評議員、坂本評議員、関評議員、細野評議員、吉田評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度決算報告について 2. 令和5年度群馬支部事業報告について 3. その他
議事概要 （主な意見等）	<p>各議題につき事務局より資料に基づき説明。主な質疑応答内容は以下のとおり。</p> <p>○議題1. 令和5年度決算報告について</p> <p>■資料1-1 協会けんぽの2023（令和5）年度決算見込み（医療分）について</p> <p>■資料1-2 令和5年度 群馬支部の収支決算（暫定版）</p> <p>【事業主代表】</p> <p>準備金残高が毎年積み上がっている状況だが、資料には必ずしも十分な水準と書けないと記載がある。では、どこまで積み上がれば妥当なのか決まっているのか。</p> <p>《事務局》</p> <p>妥当な金額の線引きは決まっていないが、高齢化や医療の高度化による保険給付費・拠出金の増加が見込まれるなど、中長期的な財政見通しを踏まえて、毎年平均保険料率についてご意見をお伺いしている。</p> <p>【事業主代表】</p> <p>2023年度末の準備金残高が、保険給付費に要する費用の約半年分に積み上がっている現状を見れば、現役世代の平均保険料率を下げ、負担を減らし、準備金が不足した段階で、平均保険料率を引き上げる考え方も十分あると思うが、資料が毎年同じような書きぶりであることに違和感を覚える。</p> <p>《事務局》</p> <p>できるだけ長く平均保険料率10%を維持していくという考えがあり、来年度の平均保険料率について、今後のシミュレーションなどによる中長期的な財政見通し</p>

を踏まえて次回の評議会でご意見をお伺いする。

【事業主代表】

国の令和6年度予算である一般会計総額約110兆円と比較しても、協会けんぽの準備金残高約5兆円は、大きな規模である。準備金残高を維持すると、少子化対策など、本来の目的以外に使用される可能性も危惧される。

【学識経験者】

業務のデジタル化が進む中で、今後も関連する支出増加が見込まれる。DXの進展という理由だけでコスト増加とならないよう、投資内容や効果を示していく必要がある。

○議題2. 令和5年度群馬支部事業報告について

■資料2-1 令和5年度群馬支部事業報告について

■資料2-2 令和5年度群馬支部事業報告について（参考資料）

【学識経験者】

レセプト点検について、定期的に自動点検マスタ等のメンテナンスを行い、効率的な点検を進めたと説明されているが機械化は進んでいるのか。

《事務局》

レセプトを1件ずつ見ると何十万件にもなるため、自動点検マスタというエラー抽出のプログラムを設定し、機械的に該当するレセプトを抽出し審査している。その他、点検員が各自で審査をしており、例えば薬を過剰に処方した場合は、決められた数量より多く処方した分の点数を減額し、適正な支払いを行っている。

【学識経験者】

過剰な薬を処方した方への回収は行っているのか。

《事務局》

薬の回収までは行ってはいない。医療機関への支払いを査定し減額している。

【学識経験者】

小規模事業所の適用が拡大しているとの説明があった。令和5年度は保険証の回収率や返納金債権の回収率が昨年度を下回っているが、小規模事業所の適用が拡大

している影響なのか。

《事務局》

必ずしも小規模事業所の増加の影響が原因ではなく、届出の電子化による保険証回収までのタイムラグであることが主な原因である。また、群馬支部は外国人労働者が多いため、医療保険制度の理解不足により、退職後保険証を返却せず帰国してしまう場合や保険証回収までに受診してしまう場合も比較的多い。

【事業主代表】

令和6年度の健診や保健指導関係の目標値が令和5年度より低い水準なのはなぜか。

《事務局》

第4期の特定健康診査実施計画（令和6年度～令和11年度）が始まり、国の目標により各保険者で目標値が示されている。令和6年度の加入者全体の健診受診率は、協会けんぽ全体の目標値62.4%を、各支部の状況を加味して調整をした結果、群馬支部は令和5年度と比べ低い目標値となっている。令和11年度の最終的な目標値は、協会けんぽ全体で70.0%であり、令和6年度の群馬支部の目標設定も、その目標値を目指したものである。

【被保険者代表】

メールマガジンの内容の中で、特定保健指導の体験談の掲載は、大変参考になっているので引き続きお願いしたい。また、毎月の納入告知書に同封されているチラシ等の広報物を、メールマガジンにURLを貼り付けて見られるようにしておくと、情報がより多くの方の目に留まり効果的であるので掲載をお願いしたい。

《事務局》

今後、メールマガジンに掲載する。

○議題3. その他

■資料3-1 マイナ保険証に関する制度説明

■資料3-2 資格情報のお知らせと加入者情報の配布について

【被保険者代表】

9月に配布される資格情報のお知らせとマイナポータルで確認できる資格情報は同一か。

《事務局》

マイナンバーが収録済みであり、退職や転職など自身の情報の変更がなければ基本的には同一であり、停電等にて医療機関のカードリーダーが利用できないときに、マイナンバーカードと一緒にどちらかを提出することで受診可能となる。まだまだマイナ保険証の利用率が低調であるため、評議員の皆様にも積極的な利用をお願いしたい。

特記事項

- ・傍聴者 1 名
- ・次回は、令和 6 年 10 月開催予定